

スタンドアロン型サイネージをすぐに運用開始

BRAVIA Signage Free

かんたんマニュアル

はじめに

1 BRAVIA Signage Freeの概要

P1

BRAVIA Signage Freeの概要を説明しています。

2 BRAVIA Signage Freeの設定

P3

BRAVIA Signage Freeの設定を説明しています。

応用編

3 スライドショー再生

P19

スライドショー再生の再生方法を説明しています。

3 プレイリスト再生

P23

プレイリストの作成・再生・管理の方法を説明しています。

4 スケジュール再生

P27

スケジュールの作成・管理。および再生の方法を説明しています。

5 利用上ご注意いただきたいポイント

P32

本製品の利用上の注意点を説明しています。

6 再生可能な動画、静止画、音声ファイルの推奨仕様

裏表紙

本製品の推奨仕様を記載しています。



BRAVIA Signage Freeの概要

USBメモリーを差すだけでスタンドアロン型のデジタルサイネージを実現できる
法人向けブラビア専用のアプリです

※設定にはパソコンとUSBメモリーが必要です

おすすめのユースケース

1. 店舗/店頭のサイネージ利用

USBメモリー or 内蔵ストレージにコンテンツを入れるだけで、自動起動プレーヤーやUSBメモリーの盗難*を気にせず利用ができます

*USBメモリーの盗難防止には FWA-AT100(別売)がおすすめ

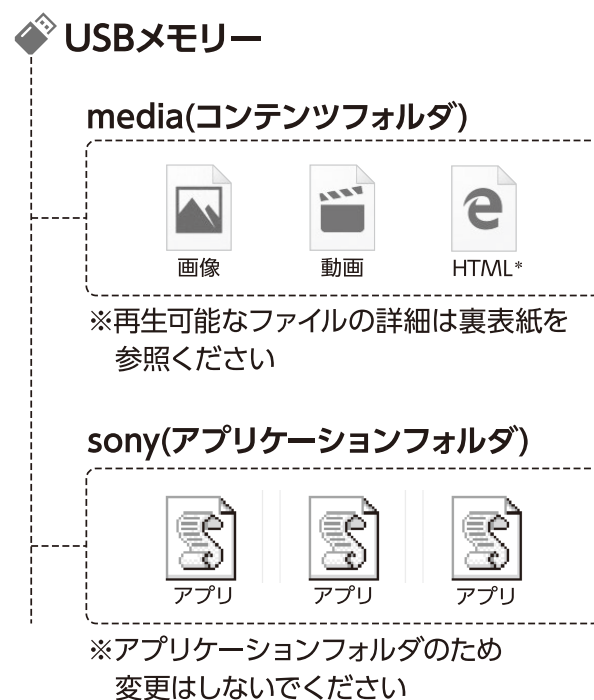
2. ショールーム/エントランスやイベント会場での利用

4Kコンテンツを使うことで、メッセージの情報量アップ & 商品イメージアップ
リモコンでのコンテンツを切り替えるモードも選べるので、接客やプレゼンにも使えます

3. 多店舗/他箇所設置での利用

ファイル名を工夫することでアプリ上でのプレイリスト作成・更新が不要
USBメモリーを変えることで、本体設定を変えずに運用できます
アプリ上でのプレイリスト作成・更新が不要

USBメモリーフォルダ構成例



BRAVIA Signage Freeでできること

スライドショー再生 詳しくはP19

コンテンツをファイル名順に再生 ループ再生も可能

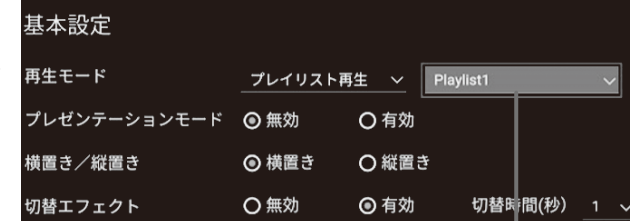
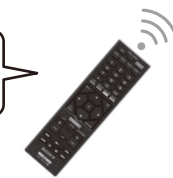


応用編

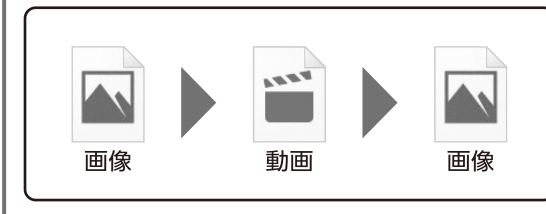
プレイリスト再生 詳しくはP23

あらかじめ作成したプレイリストを選択して再生

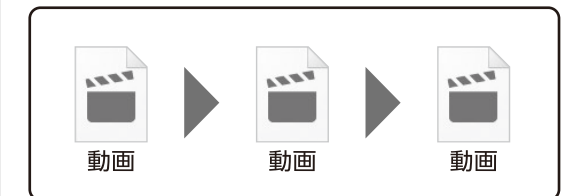
再生するリストを
設定画面で選択



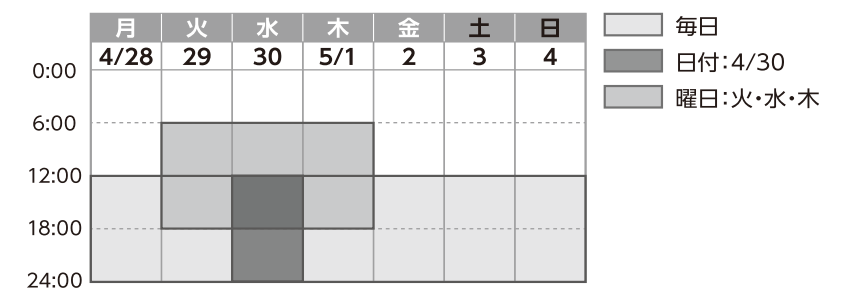
Playlist1 例) 通常時



Playlist2 例) イベント時

スケジュール再生 詳しくはP27

プレイリストに対し、再生スケジュールを設定



※スケジュール再生は、ブラビアの時計を設定できる環境でご利用ください

①BRAVIA Signage Freeの設定 (FW-BZ**L・FW-BZ**J・FW-BZ40Hの場合)

1, プロ設定モードへ移行

1-1 リモコンのホームボタンを押し、
ホーム画面を表示

1-2 “アプリ”を選択し、
”プロ設定”アイコンを選択



※ホーム画面のデザインは、画像とは異なる場合があります。

1-3 プロ設定モードを選択



1-4 本機がプロ設定モードに切り換わります。
よろしいですか?で“OK”を選択



1-5 画面上部に”プロ設定中”と
表示されることを確認する

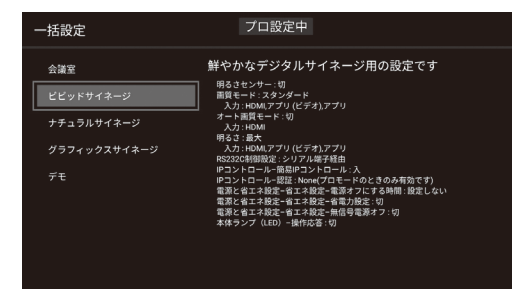


2, 一括設定

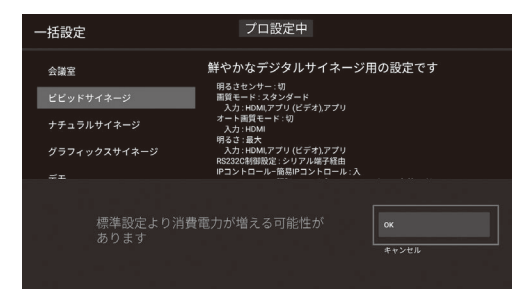
2-1 “一括設定”のアイコンを起動



2-2 お好みのモードを選択：
ビビッドサイネージ/ナチュラルサイネージ/
グラフィックサイネージ/デモ



2-3 標準より消費電力が増える可能性があります、
でOKを選択



2-4 “しばらくお待ちください。”と表示され、
1分～2分でブラビア再起動

3, ブラビア設定

3-1 設定アイコンを選択



3-2 次の項目の設定

システム>日付と時刻>タイムゾーンの設定	日本標準時
リモコンとアクセサリ>Bluetooth	オフ



3-3 “アプリ”を選択し,”プロ設定”アイコンを選択



3-4 Pro Mode、NodeRuntimeProvilege、NodeRuntimeNormal、WebAppRuntimeへ、デバイスの写真、メディア、ファイルのアクセス許可の画面がでてくるのですべて“許可”する

※このポップアップは表示されないことがあります。



3-5 プロ設定内の次の項目を設定

画質・音質設定の復元	使用しない
アプリ>BRAVIA Signage Free	使用する
USBドライブ自動実行>ウェブアプリの起動	使用する



4, BRAVIA Signage Free設定 ①USBメモリー編

4-1 BRAVIA Signage Freeのアイコンを起動

※アイコンが見つからない場合は、一番右側にある「+」アイコンを選択し、BRAVIA Signage Freeを選んでください。



4-2 “デバイス内の写真やメディアのアクセスを「BRAVIA Signage Free」に許可する”の画面がでてきたら、“許可”を選択



4-3 使用するストレージを選択してください：“USBメモリー”を選択



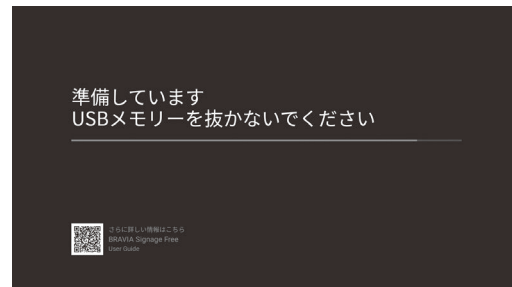
4-4 “USBメモリーを挿入してください”と表示されるので、フォーマットしたUSBメモリーをブラビアに挿入

※USB挿入口は、どちらでもOK

①BRAVIA Signage Freeの設定 (FW-BZ**L・FW-BZ**J・FW-BZ40Hの場合)

4, BRAVIA Signage Free設定 ①USBメモリー編

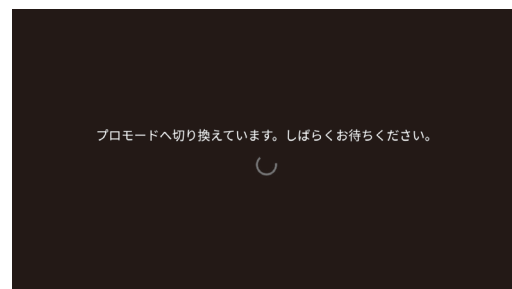
- 4-5 “準備しています USBメモリーを抜かないで下さい”と表示され、USBメモリーへ必要なアプリをコピーします(30秒程度)



- 4-6 “準備が完了しました”の画面になったら、USBメモリーを抜き、“プロモードを開始”を選択



- 4-7 プロモードへの切り換えでブラビアが再起動
※プロモードに移行した後は、ブラビアの設定メニューには入れなくなります
設定を変更したい場合は、プロ設定モードに切り替えてください。



- 4-8 USBメモリーの中にフォルダが作成されているので、その中の「media」フォルダに流したいコンテンツを入れる

- 4-9 ブラビアがオンしている状態で、ブラビアへUSBメモリーを挿入 ※挿入口はどちらでもOK

- 4-10 自動的にコンテンツ再生が開始

- 4-11 リモコンの”1”ボタン長押しで、BRAVIA Signage Freeのメニューへ移行できるので、プレイリストや、エフェクトなど必要な設定 ※デフォルトは、フォルダ内のファイルを名前順にプレイバック

5, BRAVIA Signage Free設定 ②内蔵ストレージ編

- 5-1 BRAVIA Signage Freeのアイコンを起動



- 5-2 “デバイス内の写真やメディアのアクセスを「BRAVIA Signage Free」に許可する”の画面がでてきたら、“許可”を選択



- 5-3 使用するストレージを選択してください：“内蔵ストレージ”を選択



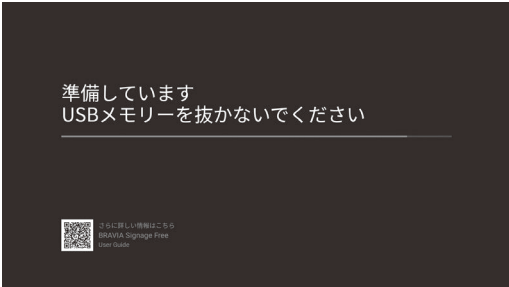
- 5-4 “USBメモリーを挿入してください”と表示されるので、フォーマットしたUSBメモリーをブラビアに挿入

※USB挿入口は、どちらでもOK



5, BRAVIA Signage Free設定 ②内蔵ストレージ編

5-5 “準備しています USBメモリーを抜かないで
ください”と表示され、USBメモリーへ必要な
アプリをダウンロード (30秒程度)



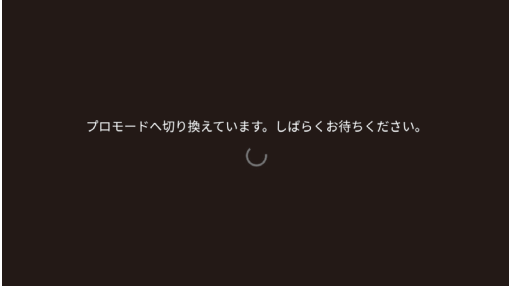
5-6 “内蔵ストレージへのセットアップの準備が
できました”の画面になったら、
USBメモリーを抜き、USBメモリーの中の
「media」フォルダにサイネージする
コンテンツをコピーして再挿入

※USB挿入口は、どちらでもOK



5-7 WebAppInstallerで“インストール中“から”完了”と表示されるので、“OK”を選択

5-8 “内蔵ストレージへのセットアップが完了
しました”と表示されるので、USBメモリーを
抜いて、“プロモードを開始”を選択



5-9 ”プロモードへ切り換えています。
しばらくお待ちください。”と表示され、
1分程度で、ブラビア再起動

※プロモードに移行した後は、ブラビアの設定メニューには入れなくなります
設定を変更したい場合は、プロ設定モードに切り替えてください。



5-10 ブラビアが立ち上がり、内蔵ストレージにコピーしたサイネージが開始

各モデルの内蔵ストレージ容量

	BZ53・50・40・35L	EZ20L	BZ30L・BT30K・XRJ-X90/BZ
内蔵メモリー容量	32GB	16GB	16GB
使用可能容量	約20GB	約8GB	約4GB

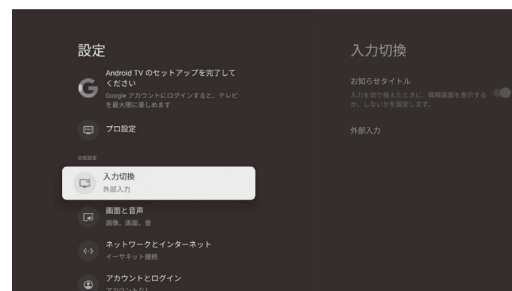
1, ブラビア設定

1-1 設定アイコンを選択



1-2 次の項目の設定

システム>電源と省エネ設定>無操作電源オフ	切
システム>日付と時刻>タイムゾーンの設定	日本標準時
リモコンとアクセサリ>Bluetooth	オフ



1-3 “プロ設定”を選択



1-4 “初期入力”>“Androidアプリ”>“BRAVIA Signage Free”を選択し、2回“決定”を選択



2, BRAVIA Signage Free設定

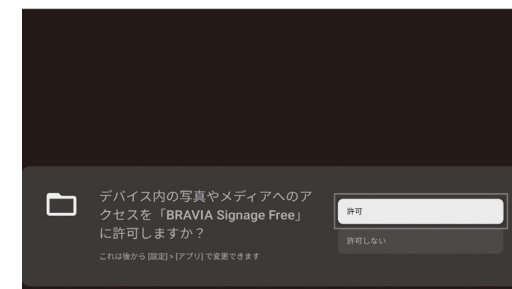
2-1 BRAVIA Signage Freeのアイコンを起動

※アイコンが見つからない場合は、一番右側にある「+」アイコンを選択し、BRAVIA Signage Freeを選んでください。



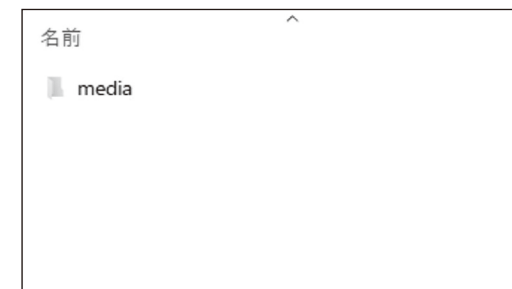
※ホーム画面のデザインは、画像とは異なる場合があります。

2-2 “デバイス内の写真やメディアのアクセスを「BRAVIA Signage Free」に許可しますか？”の画面が出てきたら、“許可”を選択



3, USBメモリーを使用する場合

3-1 フォーマットしたUSBメモリーの中に「media」フォルダーを作成し、その中に再生したいコンテンツを入れる



3-2 ブラビアにUSBメモリーを挿入した後、“ストレージ”項目で“USB”を選択し、“再生開始”を選択すると、USBメモリー内のコンテンツを再生

※挿入口は、どちらでもOK

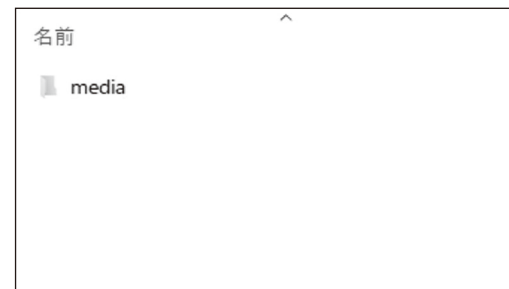


3-3 以降、ブラビア起動時には自動でコンテンツの再生を開始 リモコンの“1”ボタン長押しで、BRAVIA Signage Freeの基本設定画面へ移行できるので、再生モードや、縦置き/横置き、切替エフェクトなど必要な設定が可能

※デフォルトの再生順は、フォルダ内のファイルを名前順にプレイバック

4. 内部ストレージを使用する場合

- 4-1 フォーマットしたUSBメモリーの中に「media」フォルダーを作成し、その中に再生したいコンテンツを入れる



- 4-2 ブラビアにUSBメモリーを挿入した後、“一括インポート”を選択し、「USBドライブから以下のコンテンツをインポートします。」と出てくるので“OK”を選択「完了しました。」と出るので“OK”を選択

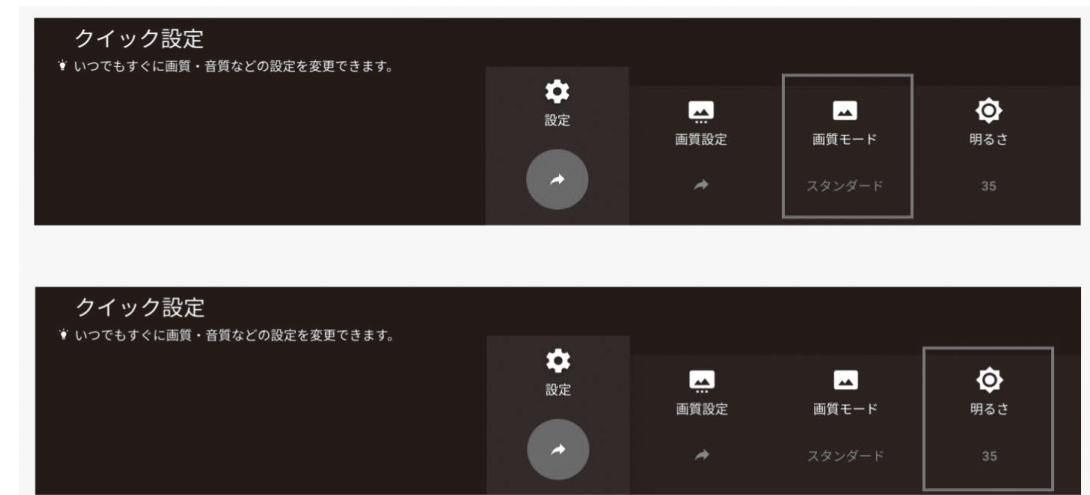


- 4-3 “ストレージ”項目で“内部ストレージ”を選択したあと、USBメモリーを抜いてから“再生開始”を選択すると、内部ストレージにインポートされたコンテンツの再生が開始



5. 便利な機能1 画質設定

- サイネージ再生中にリモコンの“OPTIONS”ボタンを押すと「クイック設定」が表示されるので、
- “画質モード”より好みの画質モードを選択可能
 - “明るさ”よりディスプレイの明るさを調整可能



6. 便利な機能2 コンテンツ・設定のエクスポート

- “一括エクスポート”をすることで、コンテンツ・プレイリスト設定・スケジュール設定をUSBメモリーに保存可能。別のEZ20Lで“一括インポート”をすることで、保存された情報がインポートされます。複数台のEZ20Lで同一の設定をしたい場合に便利です。

- 6-1 ブラビアにフォーマットしたUSBメモリーを挿入した後、“一括エクスポート”を選択すると、「以下のコンテンツをUSBドライブにエクスポートします。」と出てくるので“OK”を選択「完了しました。」と出るので“OK”を選択



- 6-2 別のEZ20LのBRAVIA Signage Free基本設定画面から、“一括インポート”を選択すると、「USBドライブから以下のコンテンツをインポートします。」と出てくるので“OK”を選択「完了しました。」と出てくるので“OK”を選択



1, プロ設定モードへ移行

1-1 プロ設定モードへ移行
※詳細な手順は、商品に同梱されている取扱説明書をご確認ください。

1-2 画面上部に”プロ設定中”と表示されることを確認する



2, ブラビア設定

2-1 設定アイコンを選択



2-2 次の項目の設定

画面と音声>画質>明るさセンサー	切
システム>電源と省エネ設定>省エネ設定>電源オフにする時間	設定しない
リモコンとアクセサリ>Bluetooth	オフ



2-3 ”プロ設定”を選択



2-4 Pro Mode、NodeRuntimePrivilege、NodeRuntimeNormal、WebAppRuntimeへ、デバイスの写真、メディア、ファイルのアクセス許可の画面がでてくるのですべて“許可”する



2-5 次の項目の設定

画質・音質設定の復元	使用しない
USBドライブ自動実行>ウェブアプリの起動	使用する



3, BRAVIA Signage Free設定

3-1 設定アイコンを選択



3-2 ”プロ設定”を選択



3, BRAVIA Signage Free設定

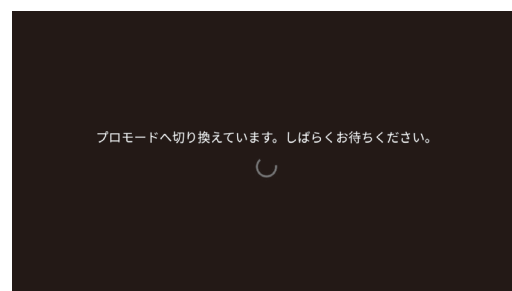
3-3 ”プロモードの開始”を選択



3-4 ”OK”を選択



3-5 ”しばらくお待ちください”と表示され、1分～2分でブラビア再起動

3-6 こちら (<https://pro-bravia.sony.net/ja/resources/software/bravia-signage-free/>) から”bravia-signage-free-x.x.x.zip”をダウンロード

※ご準備いただいたPCでの操作



3-7 Zipを解凍して、中のフォルダー・ファイルをすべてUSBメモリーのルート(直下の階層)へコピー

名前	種類
eula	ファイル フォルダー
manual	ファイル フォルダー
media	ファイル フォルダー
sony	ファイル フォルダー
tools	ファイル フォルダー
NOTICE.txt	テキスト ドキュメント
RELEASE_NOTE_en.txt	テキスト ドキュメント
RELEASE_NOTE_ja.txt	テキスト ドキュメント

3-8 USBメモリーの中の「media」フォルダに流したいコンテンツを入れる なお、3-7の作業時点で「media」フォルダ内にサンプルデータが保存されるため、不要な場合は削除

3-9 ブラビアがオンしている状態で、ブラビアへUSBメモリーを挿入
※挿入口はどちらでもOK

3-10 自動的にコンテンツ再生が開始

3-11 リモコンの”1”ボタン長押しで、BRAVIA Signage Freeのメニューへ移行できるので、プレイリストや、エフェクトなど必要な項目を設定

※デフォルトは、フォルダ内のファイルを名前順にプレイバック

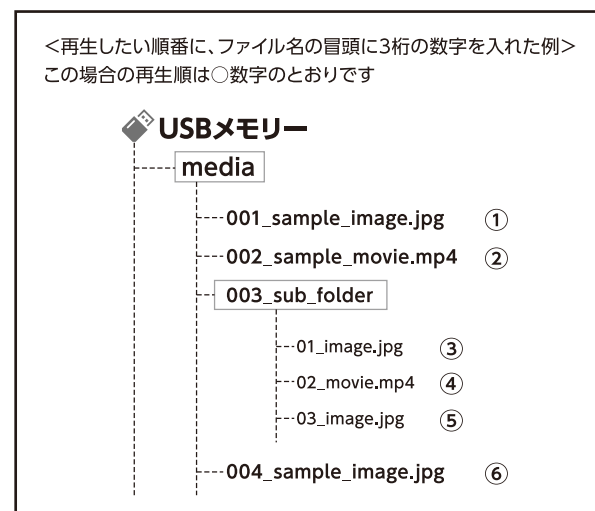
3-12 コンテンツ再生中にリモコンの“クイック設定”ボタンを押すことで、「画質モード」「明るさ」等を調整可能

スライドショー再生とは

mediaフォルダのコンテンツをファイル名順に再生します。

動画を除く、静止画およびHTML*は、設定した表示時間で再生します。

サブフォルダ以下のファイルについても、フォルダ名・ファイル名順(*)に再生されます。



※ASCIIコード順

スライドショー再生の設定変更方法

リモコンの [1] ボタンを3秒間長押しすると、基本設定画面が表示され、各種設定項目の変更が可能です。



基本設定画面

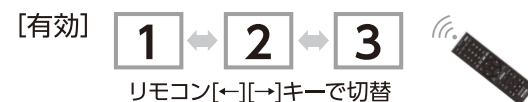
基本設定画面で設定可能な項目

●再生モード

[スライドショー再生]を選択。

●プレゼンテーションモード

※プレゼンテーションモードは、静止画のみサポート対象です



●横置き/縦置き

テロップの表示位置が横置き/縦置き用になる



※画像は自動で回転しません

※縦置きの場合はコンテンツを縦用に作成ください。詳しくはP20の項目をご参照ください

縦置ききのコンテンツを使用したい場合

○FW-BZ**L・FW-BZ**J・FW-BZ40Hの場合

縦置きの場合はコンテンツを縦用に作成する

横置き/縦置きの設定は、テロップ表示の位置のみが変更になります。

ブラビア本体を縦置きにして運用する場合、表示するコンテンツのアスペクト比は9:16でなく16:9で作成してください。

縦置き用のコンテンツの上辺は**右側**になります。

縦置き設置したディスプレイに表示するコンテンツは、あらかじめ回転したものを
ご用意ください



※縦置きは赤外線受光部が
右側に来るように設置。
コンテンツ制作時に注意



○FW-EZ20Lの場合

BRAVIA Signage Free基本設定画面で横向き、縦向きの変更が可能です。

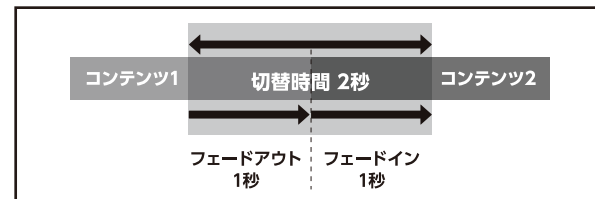


○FW-BT30K・XRJ-X90K/BZの場合

法人向けブラビア本体が縦置き設置に対応していません。

●切替エフェクト

[有効] でコンテンツ切替時にフェードアウト・フェードインのエフェクトがかかります。
切替時間：0.5秒～5秒で設定可能



●再生時間 (秒)

5秒～120秒で設定可能

<ファイル個別に再生時間を設定する方法>

静止画のみ再生時間を個別に設定できます。
ファイル名の末尾に再生したい秒数+secを半角カッコ()で追記してください。

例) 元のファイル名 : 001_sample_image.jpg
↓
設定済ファイル名 : 001_sample_image(10sec).jpg

ファイルの種類	再生の時間
静止画	設定した時間で再生
HTML*	設定した時間で再生
動画	動画ファイルの再生時間で再生

●テキスト (テロップ表示)

コンテンツ再生時に横置き／縦置きの設定に従った位置に、テロップ文字列を表示します。



※安定したテロップ表示のために、P33の項目をご確認ください

●文字色と背景色

初期設定は文字色 [黒]、背景色 [なし]
選択可能な組み合わせは右記のとおり
(背景画像が空の例)

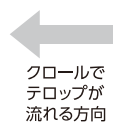
背景色 なし	黒	白	赤	緑	青	黄	シアン	マゼンタ
背景色 あり	黒	白	赤	緑	青	黄	シアン	マゼンタ
背景色 あり(透過)	黒	白	赤	緑	青	黄	シアン	マゼンタ

●クロール

[横置き]



[縦置き]

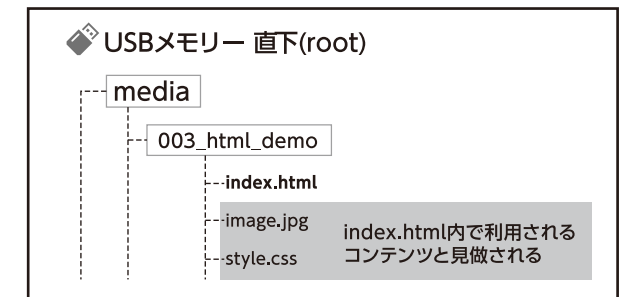


※ご使用のモデル、クロールさせる文字数、背景となるコンテンツ次第ではクロールがスムーズに流れない場合があります

HTML*コンテンツの構成について

●index.htmlの配置

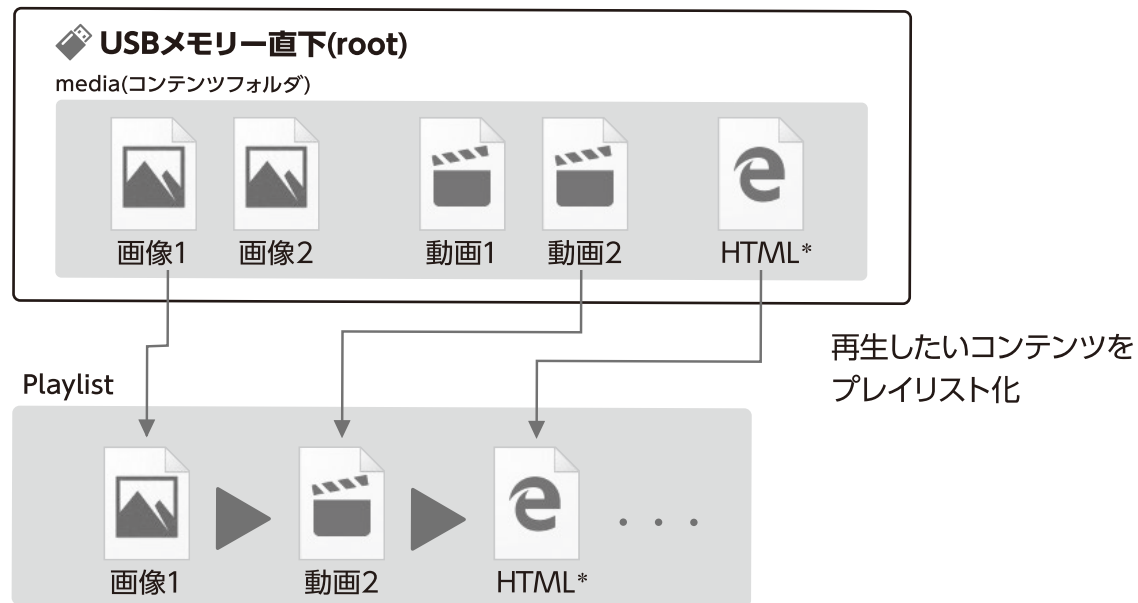
フォルダを作成し、そのフォルダ直下に **index.html** という名称でhtmlファイルを配置します。
index.htmlファイルがないと、フォルダ内のコンテンツが個別に再生されます。



※HTML*内から参照可能なコンテンツの範囲、HTML*とサブディレクトリの再生順についてはP37の項目をご参照ください

プレイリスト再生とは

動画や静止画、HTML*コンテンツを再生する順番をリスト化したものがプレイリストです。
 選択可能なファイルは、USBメモリー直下のmediaフォルダ以下のものです。
 プレイリスト再生では、あらかじめ作成したプレイリストを指定・切替えて再生します。



プレイリスト作成～再生の流れ

プレイリストを使うための手順の概要は以下の通りです。

●プレイリストの作成

1. プレイリスト設定画面へ移動
2. 新規プレイリスト作成
3. コンテンツファイルの選択
4. ファイルの種類の選択
5. 再生時間の選択
6. BGMの選択
7. テロップの設定
8. プレイリストの保存
9. プレビューの確認

●プレイリストの再生

1. 基本設定画面で再生モードを選択
2. 作成したプレイリスト名を選択

プレイリストの作成

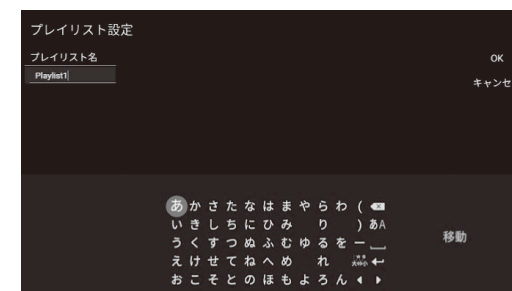
1. プレイリスト設定画面へ移動

基本設定画面で、リモコンの赤ボタンを押下し、プレイリスト設定画面に移動します。



2. 新規プレイリスト作成

プレイリスト設定画面で、リモコンの赤ボタンを押下、新規プレイリスト画面に移動します。
 最初に、プレイリストの名前を設定します。
 (※プレイリスト名は後から変更できません)



プレイリストで設定可能な項目

1. コンテンツファイルの選択

プレイリストのコンテンツをUSBメモリーのファイルから選択。
 複数のコンテンツをプレイリストに組み込みます。
 USBメモリー直下のmediaフォルダ以下のコンテンツを(サブフォルダ以下も含めて)選択可能です。

2. ファイルの種類の選択

自動判定	ファイル拡張子を見てプレイリスト保存時に判定
HTML*	HTML*コンテンツ
動画	動画コンテンツ(2K/4Kともにこの設定で再生)
静止画	フルハイビジョン以下の解像度の静止画
静止画(4K)	4K解像度の静止画

※[静止画(4K)]は自動判定では選択されないの、手動で設定

3. 再生時間の選択 (5秒～120秒で設定)

静止画	設定した時間で再生
HTML*コンテンツ	設定した時間で再生
動画ファイル	動画ファイルの再生時間で再生

4. BGMの選択

静止画の表示時にBGMにする音声ファイルをUSBメモリーのファイルから選択。
 (※BGMは1つのみ選択可能)



5. テキスト (テロップ表示)

※スライドショー再生と同様です。P21をご参照ください

6. プレイリストの保存とコンテンツの増減

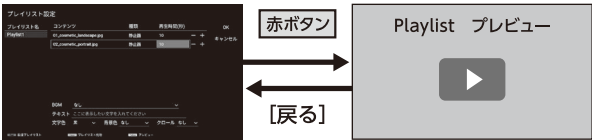
プレイリスト設定画面で、[OK]を押すと、作成したプレイリストの内容が保存されます。

コンテンツを複数登録する場合は、[+]を押して増やしてください。
 削除する場合は[-]を押してください。



7. プレイリストプレビュー

作成したプレイリストを選択し、赤ボタン押下でプレビューができます。



※以下の項目は、プレイリストには含まれず、再生時に基本設定画面で指定する共通項目です

- プレゼンテーションモード
- 横置き／縦置き
- 切替エフェクト

プレイリストの再生

1. 基本設定画面で再生モードを選択

基本設定画面にて再生モードを[プレイリスト再生]に設定します。



2. 作成したプレイリスト名を選択

基本設定画面にてプレイリストを選択し[OK]を押下します。
 プレイリスト再生が始まります。
 プレイリストの最後のコンテンツを再生し終わると、最初のコンテンツに戻って繰り返し再生を続けます。



プレイリストの再生にあたり、共通の設定として以下の項目が選択可能です。

- プレゼンテーションモード
- 横置き／縦置き
- 切替エフェクト

(各項目ともにスライドショー再生と同様です。P19～P21をご参照ください)



※テロップはプレイリストに含まれています

プレイリストの管理機能

プレイリスト設定画面では、作成済みのプレイリストに対して編集・削除が可能です。

プレイリストの編集

作成済みのプレイリストに対して

- プレイリストのファイルの追加、変更、削除
- 再生時間の変更
- BGMの変更
- テキスト(テロップ表示)の各種変更

が可能です。

プレイリストの削除

作成済みのプレイリストを選択し、緑ボタン押下で、可否確認の上、削除できます。

プレイリストを削除してよろしいですか？

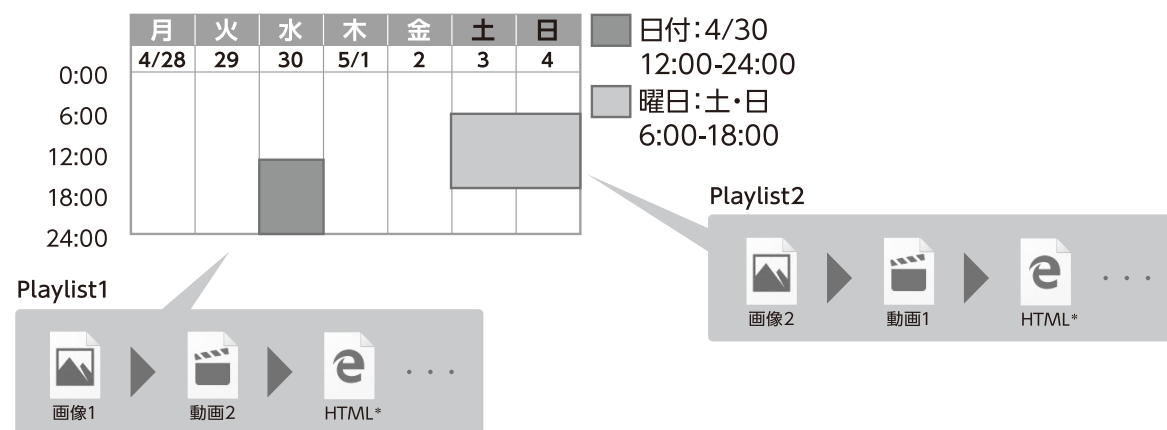
OK キャンセル

※スケジュールで使用されているプレイリストは削除できません

※ページによっては正常に表示できない場合があります

スケジュール再生とは

指定された日付／曜日などにおいて、ある時間帯であらかじめ作成されたプレイリストを再生します。



※スケジュール再生は、ブラビアの時計を設定できる環境でご利用ください

時計の設定

※ブラビアは主電源OFFやコンセントが抜かれた場合、時刻情報がリセットされます

A. ブラビアがインターネット接続している場合

時計は自動的に標準時刻に同期されます（有線接続を推奨します）

B. ブラビアに放送波が入力されている場合（チューナー搭載モデルの場合）

地上デジタル放送のアンテナ線をブラビアに接続し、リモコンの「地上」もしくは「地上デジタル」ボタンを押下してチャンネルスキャンを完了してください。

時計は自動的に同期されます。

時刻保持ユニット「FWA-UB100AT」(別売)を使用する場合

手動での時刻設定後、以下セットアップを実施することで時刻保持ユニットと時刻が同期されます※。

※インターネットや放送波に接続すると、時刻保持ユニットとの同期が停止されます。（AもしくはBの状態になります）再度、時刻保持ユニットと同期させる場合はP34「時刻保持ユニットとの再同期方法」を参照ください

時刻保持ユニット「FWA-UB100AT」(別売)のセットアップ方法

1. 液晶モニターに、専用のアプリケーションをインストールする

詳細は下記のWebサイトをご覧ください。

<https://www.sony.net/pro-bravia/accessories/FWA-UB100>

2. アプリケーションを実行し、画面の指示に従って初期設定をする

※時刻保持ユニットを使用する場合、
「USBメモリーが複数挿入されています」のエラーが出たら、
USBメモリを挿し直して10秒ほどお待ちください

スケジュールの作成

基本設定画面でリモコンの緑ボタンを押下し、スケジュール設定画面に移動します。



スケジュール設定画面でリモコンの赤ボタンを押下し、新規スケジュール設定を開始します。
日付／曜日の設定を選択します。



スケジュールの次の項目を決定します。

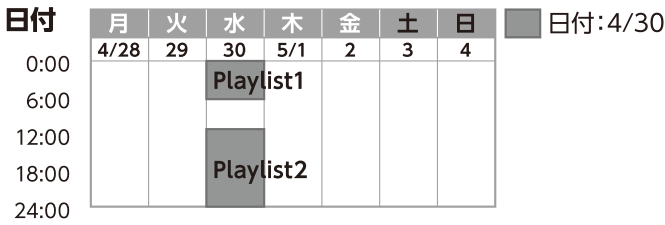
- 開始 終了時間※
- プレイリスト

また、[+]を押すとプレイリストを追加して同じ日付／曜日 内で時間帯を分けて複数のプレイリストを設定できます。
[-]を押すと、追加したプレイリストを削除できます。

※開始 終了時間は、5分単位で設定可能です



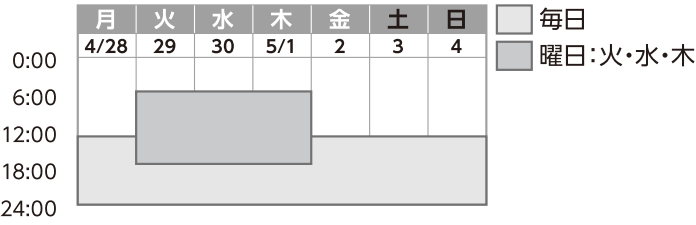
作成可能なスケジュールのパターン



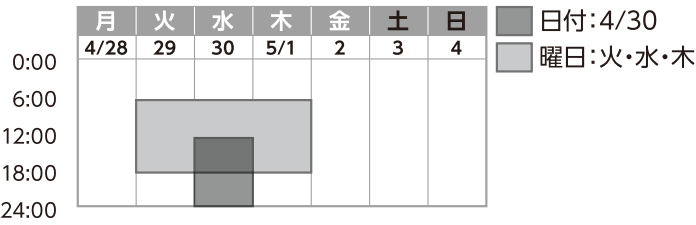
スケジュールの優先度

複数のスケジュールが被った場合、日付／曜日によって優先度が決まります。
優先度は、 **日付** > **曜日** > **毎日** の順です。

●毎日と曜日:曜日が優先



●曜日と日付:日付が優先



スケジュール再生の開始

基本設定画面にて再生モード[スケジュール再生]にすると、作成したスケジュールに従ってプレイリストが再生されます。

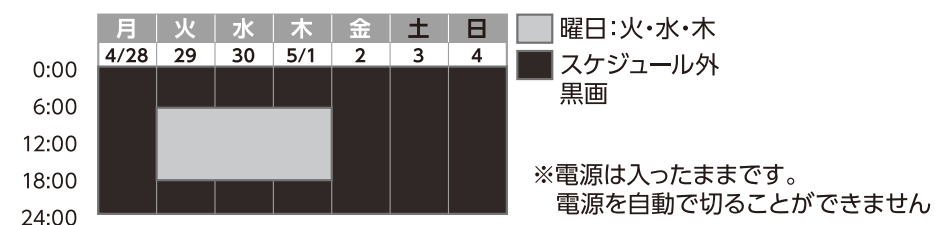
スケジュール再生にあたり、以下の項目が設定可能です。

- プレゼンテーションモード
- 横置き／縦置き
- 切替エフェクト

※各項目ともにスライドショー再生と同様です。P19～P21をご参照ください



スケジュール時間外は画面が黒画状態になります。



スケジュールの管理機能

スケジュール設定画面では、作成済みのスケジュールに対して編集・削除が可能です。

スケジュールの編集

作成済みのスケジュールに対して

- スケジュールの追加、変更、削除
- 日付／曜日の変更
- 開始／終了時刻の変更
- プレイリストの追加、変更、削除が可能です。

スケジュールの削除

作成済みのスケジュールを選択し、緑ボタン押下で、可否確認の上、削除できます。

スケジュールを削除してよろしいですか？

OK

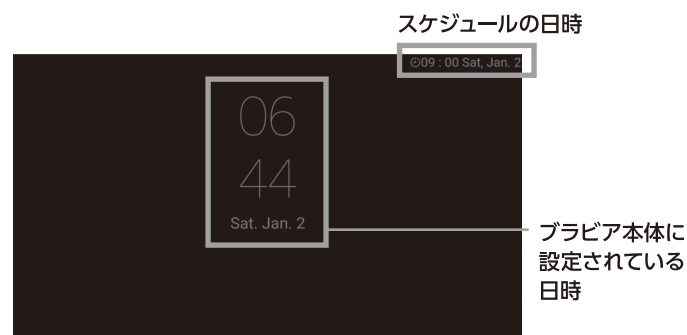
キャンセル

スケジュールが時間通り再生されないとき

ブラビア本体の日付、時刻設定を確認します。リモコンの[画面表示]ボタンを押下すると、以下2点が表示されるので時計の設定を確認します(※)

- ブラビア本体に設定されている日時
- スケジュールの日時*

*再生中のスケジュール、または次に再生されるスケジュール(スケジュール時間外のと)



※アプリでブラビア本体の時刻を修正できません

コンテンツファイル名の制約

以下のコンテンツは再生されないのをご注意ください。

- ファイル名の先頭の文字が.(ピリオド)のコンテンツ
 - ファイル名に#(シャープ)が含まれるコンテンツ
- ※全角文字のファイル名は再生されます

USBメモリーのコンテンツPath変更について

プレイリストに組み込んだUSBメモリーのコンテンツのファイルPathを変更すると、再生できなくなります。例えば、mediaフォルダ内のフォルダ名やファイル名を変更すると再生できなくなる場合があります。



BRAVIA Signage Freeの終了方法

リモコンの赤ボタンを3秒以上押してから「終了」を選択してください。また、USBメモリーで運用をされている場合USBメモリーを抜いても終了します。

コンテンツ読み込み時の黒画について

コンテンツの切替わり時に、読み込みによる黒画が発生することがあります。

電源OFFからの復帰時

電源OFFからの復帰後、次の再生は電源OFF時に再生していたコンテンツではなく1番初めのコンテンツからの再生になります

5 利用上ご注意いただきたいポイント

設定・プレイリストなどの保存先について

プレイリストや表示設定の情報はブラビア本体のストレージに保存されます。
(USBメモリーではありません)
設定を行ったブラビア以外で再生させるときは、あらためて設定が必要です。
※設定ファイルをコピーすることはできません。リモコン操作による再設定が必要です

プレイリストの作成について

プレイリストの作成について、現状以下のように確認済みです。

- 管理画面で操作して正しく再生可能なプレイリストの数は30個までです
- 作成したプレイリストは、プレイリスト名順(※)に並びます

※ASCIIコード順

USBキーボードについて

テロップなどの文字入力にUSBキーボードはご利用になれません。

テロップの表示について

テロップの表示については、以下を推奨します。

- スムーズに表示される文字数としては全角100文字程度(クロールあり)
- テロップのクロール表示がスムーズにいかない場合は切替エフェクトをお切りください

USBメモリーについて

USBメモリーにセキュリティーロックがついているとブラビアに認識されません。USBメモリーの確認済み最大容量は、32GBになります
USB端子はHi-Speed USBに対応しています。ハブおよびハブ内蔵の機器には対応していません。
USB端子はFAT32、exFAT、NTFSに対応しています。(EZ20LiはexFATは非対応)

時刻保持ユニット「FWA-UB100AT」(別売)の再同期方法

●放送波受信をしていたが、受信しない状態で時刻保持ユニットと同期させる場合

1. アンテナ入力を抜いて地上波を選局してください
2. スキャン画面が出るので、初期スキャンを行い、チャンネル情報がクリアされたことを確認してください
3. プロ設定モードで「設定」→「システム」→「日付と時刻」を選択。「日付と時刻の自動設定」をOFFにし、時刻を合わせてください。
4. ホーム画面の”USB時刻保持ユニット設定”アプリを開き、“本機の日時を書き込む”を押してください



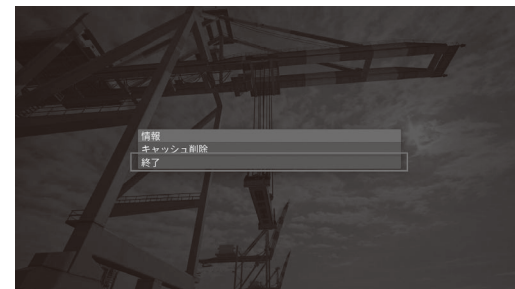
●インターネット接続をしていたが、接続をしない状態で時刻保持ユニットと同期させる場合

1. プロ設定モードで「設定」→「システム」→「日付と時刻」を選択。「日付と時刻の自動設定」をOFFにし、時刻を合わせてください。
2. ホーム画面の”USB時刻保持ユニット設定”アプリを開き、“本機の日時を書き込む”を押してください

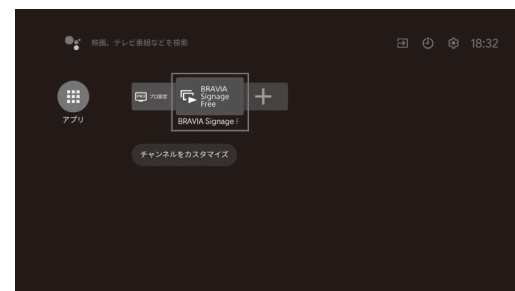
5 利用上ご注意いただきたいポイント

内蔵ストレージ使用時のコンテンツ入替方法

1 リモコンの赤ボタン長押ししてから離すと
下記メニューが表示されるので、“終了”を選択



2 BRAVIA Signage Freeのアイコンを起動



3 内蔵ストレージで動作中、という画面にて、
“コンテンツ更新”を選択



4 “USBメモリーを挿入してください”と表示される
ので、最初に作成したUSBメモリー、もしくは、
フォーマットされたUSBメモリーをブラビアへ挿入
※挿入口はどちらでもOK



5 “準備しています USBメモリーを抜かないで
ください”と表示され、30秒ほどで”内蔵スト
レージへのセットアップ準備ができましたと
表示されたら、USBメモリーを抜く



6 USBメモリーの「media」フォルダの中に、新しいコンテンツを入れる

7 USBメモリーをブラビアへ挿入 ※挿入口はどちらでもOK

8 WebAppInstallerで“インストール中”から“完了”と表示されるので、“OK”を選択

9 “内蔵ストレージへのセットアップが完了しました”と表示されるので、USBメモリーを
抜き、“再生開始”を選択

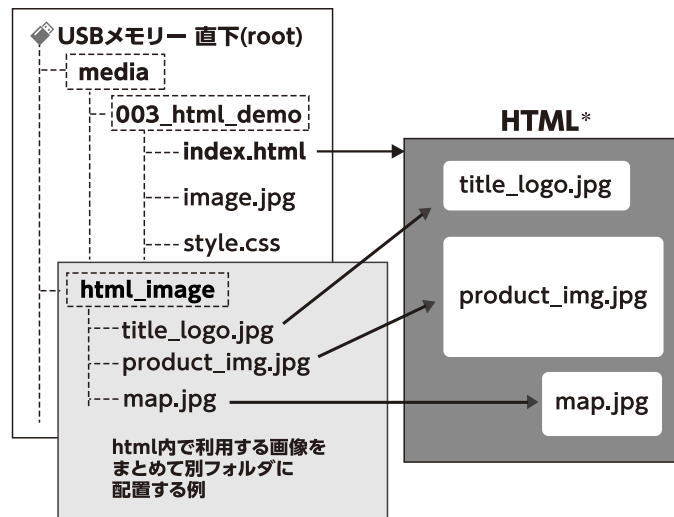


利用上ご注意いただきたい
ポイント

5 利用上ご注意いただきたいポイント

●HTML*からのコンテンツ参照可能範囲

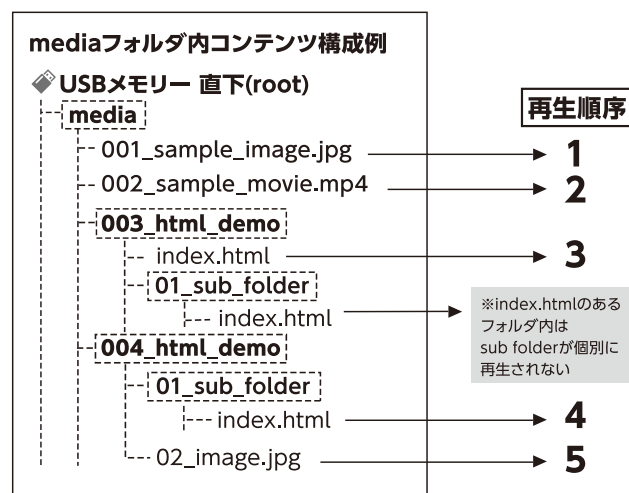
USBメモリー内のindex.htmlを配置したサブフォルダの外にある画像などを、HTML*内の要素として利用可能です。



※外部のURLを利用する場合に、x-frame-optionsを使用している場合は表示できません

●HTML*とサブフォルダの再生順序の扱い

サブフォルダを含めて、再生順序はファイル・フォルダ名と、index.htmlの有無で判定されます。

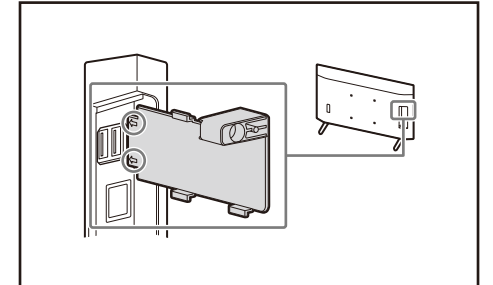


※USBメモリーの盗難が気になる方はUSB盗難防止カバー「FWA-AT100」(別売)、もしくは、ブラビアの内蔵ストレージをご使用ください
(内蔵ストレージ設定時にUSBメモリーは必要です。) また、USBメモリーにセキュリティーロックがついているとブラビアに認識されません。

USB盗難防止カバー「FWA-AT100」(別売)の設置方法

1. 盗難防止カバーのベース部を取り付ける

盗難防止カバーのベース部背面のはく離紙をはがし、矢印がUSB端子の両端に合うように、両面テープで液晶モニターに貼り付けます。

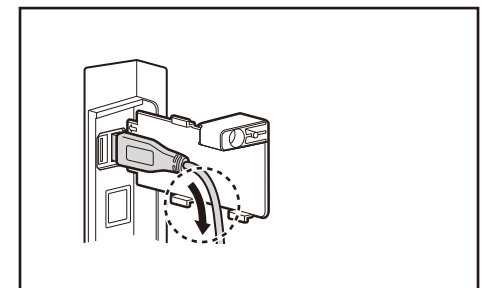
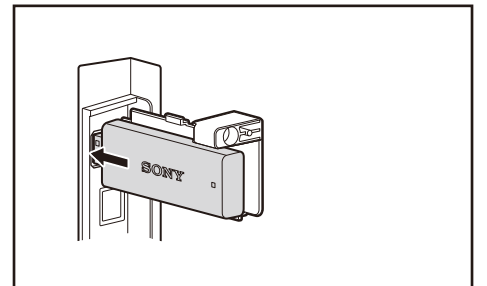


2. USB時刻保持ユニットを差し込む

USB時刻保持ユニット(もしくは市販のUSBメモリー)を、手前のUSB端子に差し込みます。

ヒント

液晶モニターに市販のUSBケーブルでつなぐ場合は、奥のUSB端子を使用し、ケーブルはベース部の突起部の間を通してください。

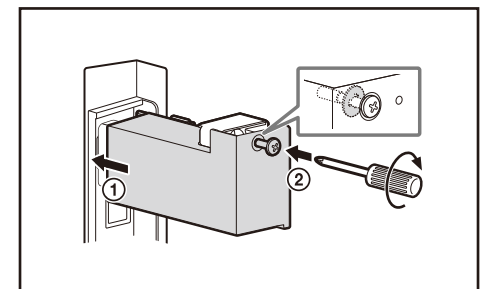


3. 盗難防止カバーのカバー部を取り付ける

盗難防止カバーのカバー部をスライドさせながらUSB時刻保持ユニットにかぶせ、付属のネジを締めて固定します。

ご注意

ネジは緩みが無い程度の締め付けにとどめてください。過度の締め付けは破損の原因となります。



動画

Container(Codec)	拡張子	アスペクト比	Audio Codec	解像度	最大ビットレート	フレームレート	再生時間
MP4(AVC)	.mp4	16:9	AAC-LC/HE-AAC	3840×2160	30Mbps	30,60fps	10分/file
MP4(AVC/HEVC)	.mp4	16:9	AAC-LC/HE-AAC	3840×2160	30Mbps	30,60fps	10分/file
MP4(AVC)	.mp4	16:9	AAC-LC/HE-AAC	1920×1080	30Mbps	30,60fps	10分/file
MP4(AVC/HEVC)	.mp4	16:9	AAC-LC/HE-AAC	1920×1080	30Mbps	30,60fps	10分/file

静止画

Container	拡張子	アスペクト比	解像度	ビット深度
JPEG	.jpg / .jpeg	16:9	3840×2160	Based on JPEG specification
JPEG	.jpg / .jpeg	16:9	1920×1080	Based on JPEG specification
BMP	.bmp	16:9	1920×1080	8 bit (256 colors) bitmap
PNG	.png	16:9	1920×1080	24bit RGB, 32bit RGBA format
GIF	.gif	16:9	1920×1080	8 bit (256 colors) bitmap

音声

Container(Codec)	拡張子	最大ビットレート	サンプリングレート	チャンネル数	再生時間
MP3(MP3)	.mp3	320kbps	44.1kHz, 48kHz	2チャンネル	10分/file
AAC(AAC-LC/HE-AAC)	.m4a	320kbps	44.1kHz, 48kHz	2チャンネル	10分/file

*記載されている最大ビットレートとフレームレートで1ファイル10分まで。ファイルシステムFAT32の場合、ファイルサイズは4GBまで。

Microsoft Office PowerPoint® で作成する際のポイント

POINT 1 サイズの設定

静止画を作成するには、解像度に応じてスライドのサイズを以下に指定します。

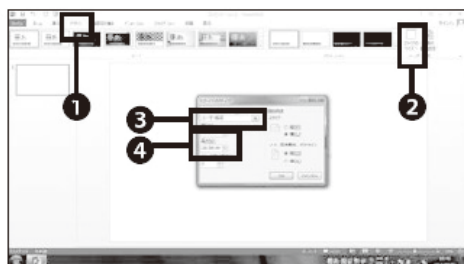
※[デザイン]-[スライドのサイズ]-[ユーザー設定のスライドのサイズ]にて幅、高さを設定

4K解像度(3840×2160)

幅：101.6cm 高さ：57.15cm

フルHD解像度(1920×1080)

幅：50.8cm 高さ：28.58cm



POINT 2 静止画の書き出し

保存する際に静止画ファイルの形式(PNGまたはJPEGまたはGIF)を選択します。

※[ファイル]-[エクスポート]-[ファイルの種類変更]-[指定形式]にてファイルを書き出す

※4K解像度はJPEGのみの対応です

※PowerPointの対応OSやバージョンによっては4Kで書き出せない場合があります



POINT 3 動画の書き出し

アニメーションを入れたスライドを動画としてコンテンツにする場合は保存時にMP4を選択してください。

※PowerPointの対応OSやバージョンによってはMP4で書き出せない場合があります



※ Microsoft, Office, PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。